



7月 えんだより



2025年7月1日発行

今年は梅雨入りしてから「え、もう夏が来たの？」と思うくらい暑い日が続きましたね。これから気温も湿度もますます高くなってくるので、体調を整えながら過ごしていきたいと思います。

さて、保育園では毎年幼児クラスが夏の野菜を育てています。暑さもあってか、今年は大収穫とはならず、4歳児ぱんだ組が育てていたナスもやっと2本収穫することができました。そのうちの貴重な1本を、お昼ごはんの味噌汁に入れてもらった日のことです。担任とAくんが一緒に食事を調理室に取りに来ていました。調理の平塚さんから「今日はみんなの育てたナスが入っているよ」教えてもらおうと、少し考えてから「…おれのナスは、おいしいと思う！」とAくん（ちょっと返事を少し躊躇していた様子から、もしかするとAくんはそれほどナスが好きではなかったかもしれません…）。部屋に戻ると、担任が味噌汁の入った鍋を子どもたちが見やすいようにテーブルに置き、「ほらナスが入っているよ」と紹介していました。ぱんだ組の子どもたちは「うわぁほんとだ！」「おいしそー」と目を輝かせてのぞいていて、Aくんも「ほんとだ」と興味津々な様子。その後、みんなでいただきますをしてナスぱくっと口に入れると「おいしい！」とにっこり笑顔子どもたち。Aくんも「うん、おいしいかな」と満足そうに食べていました。ナスは好き嫌いが分かれる野菜のため、今回はちょっとお気にめさなかった子どもたちもいましたが、味噌汁の中のナスを見たり食べている時の子どもたちの姿から、自分たちで“育てて食べる”という経験は、子どもたちにとってとても嬉しいことなのだと改めて感じました。

自然相手の活動では、こちらの予想通りに行かず思ってもいない状況になることも多いです。しかし、だからこそ思ってもいなかった出会いや気づきがあり、またそれを子どもと一緒に楽しむ心の余裕を持っている事もとても大切です。一緒にナス入り味噌汁の鍋をのぞき笑い合う大人と子どもたちのように、日々のちょっとしたことにも心を寄せ合いながら、これから始まる夏本番の毎日を大切に楽しんでいきたいですね。

また秋以降も野菜の栽培に取り組んでみたいと思っています。何か子どもたちが育てやすく、おいしい野菜がありましたら教えていただけると嬉しいです。

🌻🌿お待ちしております！ 🍅🥬

主任 三上真紀